

新 製 品

新 技 術

インジェクションランス製造

1. はじめに

インジェクションランスとは、溶銑予備処理においてトビードカーに収容されている熔融金属中（溶銑）に石灰、酸化鉄、等の処理剤の粉体及び酸素・プロパンガス、等の気体を吹き込む為の製品です。

弊社の倉敷事業所（J F Eスチール株式会社西日本製鉄所倉敷地区構内）にて、平成21年より品川リフクトリーズ株式会社（旧J F E炉材株式会社）より製造委託を請け製造を行っております。

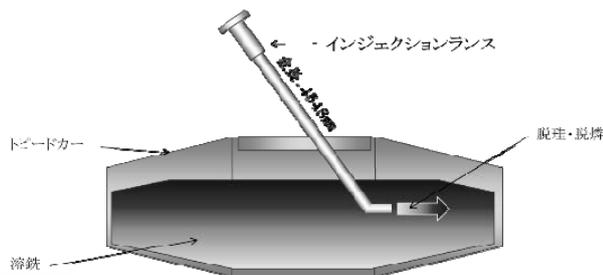


図1 インジェクションランス

2. 製造委託（キャストブル施工事業への展開）

インジェクションランスの製造は、平成21年当時J F E炉材株式会社（現品川リフクトリーズ株式会社）より依頼を請け、処理剤及びガスを供給する為の金物（シェル）の製造からスタートいたしました。

今現在では品川リフクトリーズ株式会社の技術指導（耐火物施工）の下、シェル製作—耐火物施工—乾燥—出荷までの全工程を全て弊社で行っております。製造されたインジェクションランスは、J F Eスチール株式会社西日本製鉄所倉敷地区構内の溶銑予備処理設備（P T C）で使用されています。

3. ハードフェーシングのフジコーとして

インジェクションランスの性質上、処理剤がシェルの曲がり部（S S）に当り、その部分が磨耗し穴が開き寿命が延びない不具合が発生しておりました。弊社ではハードフェーシングの世界で長年培ってきた、技術・ノウハウを活かしシェルの内管の内側に弊社が開発した材質（H C R 3）による硬化肉盛溶接方法（特許※3社共同出願中—

PCT/JP2012/078496）をご提案し採用していただいた結果、寿命を延長することに成功しております。また近年では、インジェクションランスと設備との接続方法（特許※3社共同出願中）をご提案させていただくなど、弊社ではお客様が安全に安心してご使用していただけるよう、品質だけではなく技術的なサポートもご提供させて頂いております。

※3社—J F Eスチール株式会社、品川リフクトリーズ株式会社、株式会社フジコー

問い合わせ先

鉄鋼事業本部 倉敷事業所
担当：副所長 平田 純
TEL 086-448-3035
FAX 086-448-3037